

令和2年度 学校法人昭和学院 事業報告書

1. 基本方針

- (1) 建学の精神である「明敏謙讓」の精神と伝統を踏まえ、教育の充実向上及び経営の健全化を図り、特色ある学院の維持発展を目指しました。
- (2) 教育面においては、建学の精神のもと豊かな人間性を育成し、総合学園としての特色を生かした全人教育の推進を図りました。これにより①進学実績の向上・希望する職場への就職を目指しました。②クラブ活動で全国優勝、優れた成績をあげることを目指しました。③豊かな人間性を持った若者の育成を目指しました。
- (3) 学生、生徒、児童、園児及び教職員の安全確保に努めました。
特に新型コロナウイルスの感染拡大防止に教職員、園児、児童、生徒、学生、保護者が協力し取り組みました。
- (4) 経営面においては、少子化の進行及び学校教育の変化等を視野に長期的な経営環境を考慮し、常に適正な収支の均衡を保つよう財政の健全化を図り、安定した経営を目指しました。事業計画を推進するうえでは、特に人件費比率の適正化のために創意工夫に努め、効率的な経費の配分と節約に努めましたが、不十分な部門もありました。
- (5) 収入の確保、特に各校・園の学生、生徒、児童、園児の確保に努めました。
- (6) 創立 80 周年事業の記念式典は中止となりました。
- (7) 教職員の働き方改革を推進し、業務の積極的な改善と効率化を図り超過勤務時間の削減を実現するよう努めました。

2. 事業報告

(1) 昭和学院短期大学

【基本方針】

1. Society 5.0 に向けた教育の質と学生生活環境の向上
2. 学生募集の強化
3. 就職支援とキャリア教育の推進
4. 地域社会への貢献

【実施報告】

1. 教育の質と学生生活環境の向上

①大学・短期大学基準協会から「適格」認定を受ける

昭和学院短期大学は一般財団法人大学・短期大学基準協会による令和2(2020)年度の認証評価を受け、令和3(2021)年3月12日付で「適格である」と認定された。特に優れた試みと評価できる事項が6つあげられ、向上充実のための課題及び早急に改善を要すると判断される指摘事項はなかった。

②特別補助金約 2,430 万円の獲得

2020年度私立大学等改革総合支援事業タイプ1と3の補助金額各約1,000万円、また生活クリエイション専攻の「遠隔授業活用推進事業」約300万円、こども発達専攻の「千葉県保育士養成施設に対する就職促進支援事業」約130万円、合計約2,430万円の特別補助金交付を得た。

③創立 80 周年記念事業として、寄附金による学内LED化完成 全学LED化が実現した。

④数理データサイエンス基礎、プログラミング・ロボット教育導入

数理データサイエンスの基礎をコンピュータ演習の科目として全学的に導入した。プログラミング・ロボット教育をこども発達専攻に取り入れた。

⑤ICTの活用と無線ラン、eラーニング、アクティブラーニングの充実

5月までオンライン授業を実施したため、遠隔授業体制が整った。eラーニング

、アクティブラーニングを予定通り実施した。

⑥栄養士コアカリキュラムに準拠した新カリキュラムの完成

少子高齢化が進む中、2040年問題を視野に厚生労働省が栄養士養成に新たな指針を掲げた。健康・医療・福祉の分野で、多様化・高度化する社会や国民のニーズに対応できる栄養士を育成するために必要なモデル・コア・カリキュラムが提案され、それに準拠したカリキュラム編成を行った。

⑦スポーツ栄養学を新設

時代の要請に則して設置した。学生募集に一定の効果が見られた。

2. 学生募集の強化

新型コロナウイルスの影響で例年通りの学生募集活動は難しかったが、次年度の入学生は短期大学定員の115%となり、昨年度より多く、一昨年度と同等であった。

①教職員による高校訪問は規模を縮小して行った。

②オープンキャンパス・入試説明会は5月まではWebを活用し、6月からは新型コロナウイルスの感染防止策をとって規模を縮小して行った。

③高大連携授業科目の提供は高校生の安全と健康を第一に考えて見送った。

④人間生活学科生活クリエイション専攻とこども発達専攻の定員増申請両専攻ともに、学生募集状況が申請基準に到達しなかったため今年度は見送りとなったが、引き続き次年度に向けて努力する。

3. 就職支援とキャリア教育の推進

①資格教育の充実

生活クリエイション専攻では教員採用試験対策講座の実施により、教員採用試験に現役合格者1名を輩出した。

ヘルスケア栄養学科の卒業生95名中、栄養士免許取得者は91名、取得率は95.8%と高く、「栄養士免許取得率85%以上」の目標を達成した。また、栄養士としての就職率は94.6%で、「栄養士としての就職率90%以上」の目標も達成できた。

こども発達専攻は保育士の資格取得率は96.8%、幼稚園教諭免許状の資格取得率は95.1%だった。100%を達成することはできなかったが昨年度より10%強高い。また、36名の学生が初めて認定絵本土の資格を取得することができた。

②公務員対策講座、eラーニングの実施

10名の学生が受験し、合格者は6名、合格率は60%で70%の目標には達しなかった。今年度はヘルスケア栄養学科の学生が公務員栄養士に初めて合格した。

③魅力ある就職先の開拓と就職率100%の達成

生活クリエイション専攻では新型コロナウイルスの影響を受けて、エアライン業界の採用は中止され、ブライダル業界も影響を受けた。しかし、今年度も就職率100%を達成することができた。こども発達専攻もヘルスケア栄養学科も100%を達成することができた。これで、4年連続全学で100%を達成している。

④卒業生のフォローアップ

(管理栄養士受験対策講座)

コロナ禍で、講座開催ができなかったため、管理栄養士受験対策講座はWebを活用した。昭和学院短期大学ヘルスケア栄養学科卒業生10名と昭和学院栄養専門

学校の卒業生 3 名が合格した。次年度は講座のオンライン配信を企画したい。

4. 地域社会への貢献

①市川市との包括連携協定事業の実施

コロナ禍で実施できないものが多かった。

②子育て支援センターの継続

コロナウイルスの影響でセンターの一時閉鎖、予約制の利用、各種行事の縮小等を余儀なくされた。

③大学コンソーシアム市川の推進

オンラインによる共同FD活動、市川学の一部を実施。

④リカレント教育の実施

(履修証明プログラム、公開講座、科目等履修生、聴講生制度)

履修証明プログラムとして「医療事務講座」と「食と栄養講座」を実施した。聴講生及び履修証明プログラムの受講生は 1 名、科目等履修生は 5 名だった。

〈特記事項〉

コロナウイルスの影響により、遠隔学習を 5 月まで行い、6 月からは検温装置を設置し、各教室の除菌等を整備した上で、分散登校式で授業を行った。後期は原則的に面接授業とし、外部での実習にも対応できるよう感染防止に努めた。入学式、2 年次の研修旅行、体育祭は中止とし、学園

祭は「学修発表会」として各学科・専攻の学びを発表する学内公開の形で実施した。

(2) 昭和学院高等学校・昭和学院中学校

【基本方針】

1. 生徒の学力向上、進路実績の向上のための新コース制推進と環境整備
2. 生徒募集活動の充実～高い文武両道を目指す生徒の確保～
3. 分掌の強化と校務の情報化推進
4. 安心・安全な施設の維持
5. 創立 80 周年記念事業への取り組み

【実施報告】

1. 教育の充実と資質・能力の高い多様な生徒の確保
 - ・新コース制推進 (IA コース: 日本人とネイティブの 2 人担任制、TA コース: 英数国教科別担任制 など) → コロナ禍の中、新コース元年がスタート→ IA・TA コースとも特色を發揮、他コースもクリエイティブな取組で良いスタートが切れた
 - ・自習室の整備とキャレルデスクの導入 → 休校明けからオープン。チューター(本校卒業の大学生)の指導・相談等が好評で、高3生はもとより下級生の利用者の増加がみられた
 - ・英語力の育成
 - コミュニケーション力(オンライン英会話の導入) → AE のプラクティスの効果が出始める
 - ・授業力向上(各種研修会への参加、Find アクティブラーナーの導入等) → 意識向上中
 - ・探究学習の推進(総合学習への展開) → プレゼンテーション能力向上につながっている
 - ・高大接続 PT による新入試への対応(研修会への参加、研究授業の実施、ポートフォリオの作成等) → センター試験から大学入学共通テストへの移行期に柔軟に対応した
2. 分掌の強化・推進と校務の情報化推進
 - ・副校長(2 名制): 中高全体を 2 名で校務の分野別担当 → 職責を自覚し日々奮闘中

- ・スタディサポーターの新設 → 担任、各部主任等を除いた教師が生徒の学習を支援した
 - ・スコーレ(教務システム)の活用及び適切なカスタマイズ → 有効利用の為の研修を継続
 - ・スタディサプリ(各家庭への情報配信システム)の適用拡大 → 良好に活用できた
3. 学校施設及び環境の整備
- ・築 10 年以上経過した校舎、施設の点検及び保守管理の遂行 → 大規模修繕・改修が必要な箇所多し
 - ・校舎棟壁面の打診検査実施 → 済 人工芝のメンテナンス → 上記と同様
 - ・体育館水銀灯の LED 化(計画の立案) → 計画中
 - ・チョーク黒板のホワイトボードへの全面切替(計画の立案) → 計画中
 - ・女子学生寮の入居率向上(現在の入居率60%) → 現状維持
4. 創立 80 周年事業への取り組み → コロナ禍による周年事業の大幅縮小・記念誌の遅れ
- ・創立 80 周年に向けた小中高秀英中高との教育連携 → 相互授業見学の実施を継続
 - ・式典・祝賀会の企画推進 → 中止
 - ・寄附金の募集 → 周年事業としては中止(通常の募集は継続)

(3) 昭和学院秀英中学校・高等学校

- ① 進学実績向上のための授業の充実と補習、講習の徹底
 - ・質の高い授業の実践
 - ・各教科研修の充実
 - ・補習、講習の徹底
 - ・中学校 英数国を中心とした基礎学力の徹底
 - ・中 3 英数、高 1 英 クラスを分割した習熟度別少人数授業実施
 - ・オンラインでの学習指導(主として、臨時休業期間中)
- ② 海外研修、語学研修等の拡充
 - ・高 1 海外語学研修(継続 3 4 回目) → 中止
第 3 3 回は令和 2 年 3 月に中 3 で実施 → 中止。
 - ・高 1 BOSTON・NY 研修(継続 4 回目) → 中止
 - ・高 1 英国大学キャンパスプログラム(継続 3 回目) → 中止
 - ・エンパワーメントプログラム(継続 4 年目)
新型コロナウイルス感染症のため、グループリーダーの学生を海外から招聘せず日本に滞在している留学生だけとした。参加人数 4 4 名でアドバンストクラスを設けることができなかったが、アドバンストグループとスタンダードグループに分けて実施。対象学年は、中 3 高 1 高 2。
 - ・中 1、中 2、高 1 オンライン英会話(継続 4 年目)
 - ・中 2 ブリティッシュヒルズ研修(継続 3 年目) → 中止
 - ・中 1 TOKYO GLOBAL GATEWAY 研修(継続 3 年目) → 中止
 - ・中 2 ジュニアエンパワーメントプログラム計画 → 中止
 - ・中 3・高 1 クラスを分割した習熟度別少人数授業実施
- ③ 豊かな心の人間づくり
 - ・LHR(高校)、道徳(中学校)活動の充実
 - ・ルール、マナー等規範意識の向上
 - ・中学校 3 年生、高校 2 年生修学旅行 → 中止
 - ・文化講演会、芸術鑑賞教室、中学校体育祭、高校スポーツ大会、中 3 歌舞伎鑑賞教室、中学校合唱コンクール → 中止
 - ・スクールカウンセラー 週 2 日勤務に加え、月 2 回の土曜勤務を拡充
- ④ 学習環境の整備と校内美化
 - ・塵ひとつない環境づくり
 - ・清掃の徹底、アルコール消毒
 - ・学習用コンピュータ、校内ネットワーク強化 → 次年度以降の活用充実
 - ・教室照明の LED 化 → 実施できず
- ⑤ インターネット出願の充実(継続 4 年目)

- ⑥ 中学校 午後特別入試（4年目）1／20 第1回1／22 第2回2／2
高等学校 一般入試1／18 後期入試取り止め（2年目）
- ⑦ ADVANCE 勤怠システム（継続3年目、手のひら静脈認証による出退勤管理、服
務管理）

2. 令和2年度生徒・学生等数の状況

（単位：人）

学校名	総定員	在学者数 （定員充足率）	入学定員	入学者数 （定員充足率）	令和3年度 入学者
昭和学院 秀英 高等学校	760	819 (107.8%)	240	240 (100.0%)	263 (109.6%)
昭和学院 秀英 中学校	480	534 (111.3%)	160	170 (106.3%)	170 (106.3%)

3. 校舎・備品等の整備事業

主な校舎等の改修及び備品の購入

学校名	事業名	事業内容
昭和学院秀英 高等学校 中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境整備 ・ 教育環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒用学習端末 200 台 ・ 校内ネットワーク設備強化 ・ 双眼顕微鏡 40 台 ・ 物理室プロジェクター ・ // ホワイトボード ・ ネット（サッカーゴール） ・ 図書館書架 ・ // キャレルディスク設置 12 台 ・ // 机上用アクリル板 ・ 教卓前ビニールシート設置 ・ 中央棟雨漏り防止工事 ・ 第2 体育館照明落下防止設備設置 ・ // LED照明 ・ 中学棟空調設備交換準備 ・ // 網戸設置 ・ 高校棟1・2階網戸設置 ・ エアコン清掃（中高） ・ 中学棟、高校棟廊下ワックス ・ 時計交換（高3） ・ カラープリンタ（中高） ・ 防犯カメラレコーダー交換 ・ 外灯設置 ・ サーモグラフィーシステム1+2セット ・ 非接触型体温計 ・ 加湿器（各教室） ・ 消毒用アルコール、フェイスシールド マスク等感染防止対策消耗品

(4) 昭和学院小学校

【基本方針】

1. 児童に寄り添い、個に応じた指導を充実させる
2. グローバル化の推進
3. 充実した学習活動を保障する学習環境を構築する
4. 新指導要領実施に対応する職員研修
5. プログラミング教育の研究・実践

【実施報告】

1、個に応じた指導

- ・収容定員変更

80 人定員 → 105 人定員、3 クラス

- ・授業料・施設費の改定

新入児童の学費改定

○授業料 28,000 円 ⇒ 31,000 円

○施設費 14,000 円 ⇒ 17,000 円

2、グローバル化

- ・教員のグローバル化研修

シンガポール日本人学校と教員派遣締結

2021 年 4 月よりシンガポール日本人学校へ本校教諭 1 名 (44 歳) を 2 年間派遣

- ・英語教育の充実と国際交流の推進

オーストラリア語学研修 9 日間、2～6 年 (8 月) 中止

イングリッシュキャンプ 9 月に実施

3、学習環境の構築

- ・ICT 化の推進

休校中の対策

自作の学習動画の配信

オンライン朝の会 (Web 会議システムを使って)

学習課題の送受信 (ロイロノートを使って)

- ・インターネット環境の充実

端末機器を使った学習がより快適に行えるように

4、新指導要領実施に対応する研修の充実

- ・教材教具の整備

デジタル教科書購入

- ・職員研修の充実
授業研究会を全9回実施
- ・千葉県私立小学校研修会会場校(11月)
来年度に延期

5、プログラミング教育

- ・プログラミング教育の促進
学校見学会で公開

6、学童保育

- ・拡大と充実
約170名(全校児童の35%)
休校中は医療従事者の子どものみ

7、児童募集

- ・少子化が進む中で定員の確保
オープンスクール、学校説明会を回数を増やし定員を減らして実施

8、幼小、小中高連携の充実

実施不可

(5) 昭和学院幼稚園

【基本方針】

1. 新幼稚園教育要領実施に沿って教育の充実
2. 英語学習ほか教育活動の充実
3. 預かり保育、課外教室の充実
4. 未就園教室の拡大、充実
5. 園舎・園庭の整備

【実施報告】

1、教育活動の充実

- ・英語学習 の 充実
プログラミング教育の充実
- ・幼小連携の活動 年長児と2年生、年中児と1年生 中止
- ・各種行事の充実
遠足・サマースクールを中止 ⇒ 夏祭りを実施

運動会、発表会、作品展等の改善

運動会は3密を回避する内容に変更

発表会は分散して実施

2、教員の保育研修

- ・絵本の読み聞かせの研修を実施

3、預かり保育・課外教室の充実

- ・新型コロナウイルス感染防止対策

預かり保育を学年ごとに分けて実施

保護者の送迎の立ち入りを制限

- ・ダンス教室、サッカー教室 ・・短大体育館、小学校グラウンドを利用

4、未就園クラスの拡大、充実

- ・ひよこクラブ週2日コース増設

- ・音楽教室、体育教室等 週3日 ・・短大図書館棟(学童の部屋)を利用

5、園舎、園庭の整備

- ・補助金を利用した施設・設備の充実

園庭の斜面整備

畑の増設 ・・中高南門

6、募集活動の充実

- ・ホームページ・入園案内のリニューアルと有効利用

説明会、見学会 実施

7、その他

- ・安全管理、危機管理体制の見直し

新型コロナウイルス感染防止対策

健康カード提出、マスク着用と消毒

空気清浄機入れ替え

保護者の立ち入りの制限

参観等 各種行事の人数制限と分